

令和6年度 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク
第1回全体会議次第

日 時 令和6年7月19日（金）
午後2時～
場 所 飯塚市役所本庁
2階多目的ホール

1 開会

- (1) 事務局からの連絡
- (2) 開会のあいさつ

2 協議

- (1) 自立支援ネットワークの活動報告
 - ① 専門部会（こども部会）
 - ② 専門部会（相談支援部会）
 - ③ 専門部会（くらし部会）
 - ④ 専門部会（就労支援部会）
- (2) 飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センター等運営事業
令和5年度相談支援事業の報告及び令和6年度計画
 - ① 基幹相談支援センター
 - ② 基幹相談支援センターの機能強化事業
- (3) 地域生活支援拠点等整備事業・日中サービス支援型共同生活援助の活動報告
 - ① 地域生活支援拠点等の整備事業について
 - ② 地域生活支援拠点等の整備事業活動報告
 - ③ 日中サービス支援型共同生活援助の活動報告
 - ・ 障がい福祉サービス事業所ホームファイトⅡ（社会福祉法人ひなの家）
 - ・ Hilltop Garden 雅（社会福祉法人嘉穂の里）
 - ・ グループホームあさひの里（社会福祉法人天満会）
 - ・ シェアハウス喜富（一般社団法人C・ネット福岡）
 - ・ ソーシャルインクルーホーム飯塚平恒（ソーシャルインクルー株式会社）
- (4) 意見交換

3 閉会

飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワークの 活動について

資料 1-1 : ① 専門部会 (こども部会)

資料 1-2 : ② 専門部会 (相談支援部会)

資料 1-3 : ③ 専門部会 (くらし部会)

資料 1-4 : ④ 専門部会 (就労支援部会)

専門部会（こども部会）活動報告

部会名	こども部会
目的	インクルージョン（参加・包容）の理念のもとに、障がいのある児童や、医療が必要な児童、その家族が地域で安心して暮らせる地域作りを目的に、ライフステージに応じた切れ目のない支援、保健・医療・福祉・保育・教育との連携を推進していく。
構成員領域	医療機関／児童発達支援事業所／放課後等デイサービス事業所／保健福祉環境事務所／市町保健担当課／市町子育て担当課／市町教育委員会／市町障がい者福祉担当課／障がい者基幹相談支援センター など
設置期間	定めなし
開催頻度	定めなし
活動報告	<p>【令和5年度】</p> <p>■第1回こども部会 【開催日】 令和5年4月7日（金） 【参加者】 15名 【内 容】 各グループの活動について報告 それぞれ前年度部会で出た意見を具体的に実行していく。学校との連携の難しさがある。このこども部会においてインクルージョンの推進、連携作りをどのようにすすめていくか引き続き検討していく。</p> <p>ネットワーク班話し合い 【開催日】 令和5年7月14日（金） 【参加者】 9名 【内 容】 今年度の活動について ランチタイムミーティング、連携作りのきっかけになるような、誰でも参加しやすい研修会の開催を企画。11月～12月の隔週金曜日。医療機関、福祉、教育、保健、保育、5分野から発達障がい児に対する支援について話しをしてもらう。</p> <p>■第2回こども部会 【開催日】 令和6年2月6日（金） 【参加者】 16名 【内 容】 振り返りと次年度の会の構成について ・ランチタイムミーティングの取り組みについて報告。 ※報告書別紙参照 ⇒来年度も反省点をふまえ実施の方向。 ・児童通所事業所の連携作りのグループの提案。研修会や意見交換会の実施を想定。 ⇒事業所の急増に伴い実態把握の必要性あり。既存のこども部会のネットワーク班の中で取り組んでいく。</p>

	<p>【令和6年度】</p> <p>■第1回こども部会</p> <p>【開催日】 令和6年5月31日（金）</p> <p>【参加者】 15名</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こども部会の取り組みの整理 <ol style="list-style-type: none"> 1) インクルージョンの推進⇒委員に子育て支援課、学校教育、保育園を追加。 2) 事業所の質の向上⇒ネットワーク班で研修会や意見交換会等企画していく。 ・ 児童発達支援センターの役割と委員の追加の提案 ・ 研修会の検討（①災害時の対応 ②愛着障がいの理解）
今後の予定	<p>医療的ケア児班 研修会（案）</p> <p>【開催日】 9月頃（未定）</p> <p>【対象者】 医療機関、障がい児福祉施設、学校教育等</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害が起こった時の対応について <p>ネットワーク班 研修会（案）</p> <p>【開催日】 9月～11月頃（未定）</p> <p>【対象者】 医療機関、障がい児福祉施設、学校教育、子育て支援課、保育園等</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインランチミーティング ・ 各分野より障がい児支援について取組の発表 <p>全体 研修会（案）</p> <p>【開催日】 令和7年1月頃</p> <p>【対象者】 医療機関、障がい児福祉施設、学校教育、子育て支援課、保育園等</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トラウマインフォームドケアを学ぶ

こども部会ネットワーク班 ランチタイム勉強会 報告書

目的： 障がい児支援に関わる関係機関がお互いの活動や役割を知ること、関係機関同士の連携を深めることを目的とする。また、こども部会設置について関係機関への周知をし、圏域の取り組みについて理解を深めてもらう。

方法： オンライン形式

時期： 令和5年10月～12月 隔週に1回 計5回

時間： 12時～12時30分

案内先： 飯塚病院、障がい児通所事業所、相談支援事業所、小学校、中学校、障がい福祉課、子育て支援課

案内方法： メール（後にFAXで追加案内）

	日時	分野	発表者	参加者
第1回	令和5年10月13日	福祉	発達障がい児等相談支援機能強化事業トントン 相談支援専門員 小出 悦子氏	42名
第2回	令和5年10月27日	医療	飯塚市立病院 小児科医師 穂吉 秀隆氏	29名
第3回	令和5年11月10日	保健	飯塚市子育て支援課 保健師 藤田 奈緒氏	14名
第4回	令和5年11月24日	保育	幸袋こども園 園長 村島 京子氏	17名
第5回	令和5年12月8日	教育	嘉麻市立稲築西義務教育学校 通級指導教室 丸林 由紀恵氏	20名

（主な意見）

- ・ 学校現場として福祉との連携の必要性を感じています。
- ・ 福祉と医療との連携ということで、様々な課題はあると思いますが、まずはこのような集まりに積極的に参加して、少しずつ形にしていけたらと思いました。
- ・ 公民立場を問わず参加可能で意見交換や情報共有の出来るとてもいい試みだと思っています。
- ・ 保育園と小学校との連携があまりとれていないようにあります。その子の幼少期を受けた園と連携が深まれば、その子の対応がもっとスムーズに行くのではと思います。
- ・ 学校での取り組みがすごくわかりやすかったです。様々な学校の取り組みを、今後も勉強させていただき、より良い連携ができればと、思いました。

専門部会（相談支援部会）活動報告書

部会名	相談支援部会（ネットワーク型）
目的	飯塚圏域における相談支援体制において、障がい児者の自立や権利擁護を重視した一般相談・計画相談が実現するよう、相談支援専門員のスキルアップやネットワーク構築を目的に設置するものとする。
構成員領域	指定特定相談支援事業所の相談支援専門員／行政職員／障がい者基幹相談支援センター職員
設置期間	設置期間に定め無し
開催頻度	1回／2ヶ月（偶数月の第2金曜日 午後）
活動報告	<p>【令和5年度】</p> <p>■第3回相談支援部会 【開催日】令和5年8月18日（金） 【参加者】29名（相談支援専門員25名／行政4名） 【内 容】「介護保険移行期の支援（総合事業について）」 ・介護保険移行期の支援について（総合事業について） …嘉麻市高齢者介護課より講話 ・災害時支援や拠点整備についてのアナウンス</p> <p>■第4回相談支援部会 【開催日】令和5年10月13日（金） 【参加者】28名（相談支援専門員26名／行政2名） 【内 容】「事例検討② 一人暮らしに向けての支援」 ・事例検討 … 1事例を用いてグループワーク</p> <p>■第5回相談支援部会 【開催日】令和5年12月22日（金） 【参加者】37名（相談支援専門員35名／行政2名） 【内 容】「研修：発達障がいのある方への相談支援」 ・講師：ワーク・ライフサポートたくと 主任相談支援専門員 舟津裕介氏 ・令和6年度 企画委員の選出について</p>

	<p>■第6回相談支援部会 【開催日】令和6年2月9日（金） 【参加者】32名（相談支援専門員29名／行政3名） 【内 容】「権利擁護と虐待防止について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習「権利擁護と虐待防止について」 ・意見交換 <p>【令和6年度】</p> <p>■第1回相談支援部会 【開催日】令和6年4月12日（金） 【参加者】38名（相談支援専門員35名、行政職員5名） 【内 容】「事例検討①／令和6年度の部会活動について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定相談支援事業所／行政担当者／基幹センターの自己紹介 ・令和6年度の部会活動について（年間計画をもとに） ・事例検討①（グループ内検討） <p>…グループにわかれて、各自の事例について意見交換</p> <p>■第2回相談支援部会 【開催日】令和6年6月14日（金） 【参加者】26名（相談支援専門員24名／行政2名） 【内 容】「ロールプレイ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイのねらいについて ・各グループでの実践（アセスメント場面／モニタリング場面） ・振り返り
<p>今後の活動 （予定）</p>	<p>■第3回相談支援部会 【開催日】8月9日（金）15：00～ 【参加者】相談支援専門員・行政 【内容】「事例検討②」</p> <p>■第4回相談支援部会 【開催日】10月11日（金）15：00～ 【参加者】相談支援専門員・行政 【内容】「意見交換会（グループホーム）」</p>

	<p>■第5回相談支援部会 【開催日】12月13日(金)15:00～ 【参加者】相談支援専門員・行政 【内容】「虐待防止と権利擁護について」</p> <p>■第6回相談支援部会 【開催日】令和5年2月14日(金)15:00～ 【参加者】相談支援専門員・行政 【内容】「研修(テーマは未定)」</p>
企画会議	<p>【開催頻度】1回/2ヶ月(今年度は5・7・9・11月、令和7年1月・3月での開催) 【場所】飯塚市役所穂波庁舎内会議室 【参加者】企画委員(5名)+基幹センター(3名) 【内容】翌月以降の部会において、どのような形で実施するか検討や圏域内の相談支援体制における意見交換等</p>

専門部会（くらし部会）活動報告書

部会名	くらし部会（ネットワーク型）
目的	精神障害者が、地域の一員として、安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目的とする。
構成員領域	当事者関係団体／医療機関（精神保健福祉士）／保健所（保健師）／ 障がい者福祉担当職員／障がい者基幹相談支援センター職員
設置期間	設置期間に定め無し
開催頻度	令和5年度：1回／2ヶ月（第2月曜日 14時～） 令和6年度：1回／3ヶ月（第2月曜日 14時～）
活動報告	<p>【令和5年度】</p> <p>■第1回くらし部会 【開催日】 令和5年5月8日（月）14:00 【参加者】 14名 （当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）6名、保健所（保健師）2名、行政職員1名、基幹センター3名） 【内 容】 「くらし部会年間計画について」</p> <p>■第2回くらし部会 【開催日】 令和5年9月11日（月）14:00 【参加者】 14名 （当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）6名、保健所（保健師）2名、行政職員1名、基幹センター3名） 【内 容】 「2市1町の生活保護、障がい福祉担当者との意見交換会に向けた準備について」</p> <p>■第3回くらし部会 【開催日】 令和5年11月13日（月）14:00 【参加者】 20名 （当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）5名、保健所（保健師）2名、行政職員5名、基幹センター6名） 【内 容】 「2市1町の生活保護、障がい福祉担当者との意見交換会」</p> <p>■第4回くらし部会 【開催日】 令和6年1月15日（月）14:00 【参加者】 13名 （当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）4名、保健所（保健師）2名、</p>

	<p>行政職員 1 名、基幹センター4 名)</p> <p>【内 容】「2 市 1 町の生活保護、障がい福祉担当者との意見交換会の振り返り」 「今後の意見交換会について」</p> <p>■第 5 回くらし部会</p> <p>【開催日】令和 6 年 3 月 11 日（月）14:00</p> <p>【参加者】14 名 (当事者関係団体 2 名、医療機関（精神保健福祉士）5 名、保健所（保健師）2 名、行政 1 名、基幹センター4 名)</p> <p>【内 容】「来年度の取り組みについて」</p> <p>【令和 6 年度】</p> <p>■第 1 回くらし部会</p> <p>【開催日】令和 6 年 5 月 13 日（月）14:00</p> <p>【参加者】19 名 (当事者関係団体 2 名、医療機関（精神保健福祉士）6 名、保健所（保健師）2 名、行政職員 6 名、基幹センター3 名)</p> <p>【内 容】「2 市 1 町の交通コミュニティ対策担当課、障がい者福祉担当者との意見交換会について」</p>
<p>今後の活動 (予定)</p>	<p>■第 2 回くらし部会</p> <p>【開催日】令和 6 年 8 月 26 日（月）14:00</p> <p>【参加者】当事者関係団体、医療機関（精神保健福祉士）、保健所（保健師）、行政職員、基幹センター</p> <p>【内 容】未定</p> <p>■第 3 回くらし部会</p> <p>【開催日】令和 6 年 11 月 11 日（月）14:00</p> <p>【参加者】当事者関係団体、医療機関（精神保健福祉士）、保健所（保健師）、行政職員、基幹センター</p> <p>【内 容】意見交換会</p> <p>■第 4 回くらし部会</p> <p>【開催日】令和 7 年 2 月 10 日（月）14:00</p> <p>【参加者】当事者関係団体、医療機関（精神保健福祉士）、保健所（保健師）、行政職員、基幹センター</p> <p>【内容】普及啓発の取り組み</p>

精神保健福祉関係者会議（P ミーティング）	<p>【開催頻度】 暮らし部会を開催しない月（第2火曜日 14時半～）</p> <p>【場所】 基幹相談支援センター</p> <p>【参加者】 精神科病院のソーシャルワーカー、嘉穂鞍手保健福祉環境事務所の保健師、市町村職員、基幹相談支援センター職員</p> <p>【内容】 部会の打ち合わせや精神保健福祉に関する意見交換等</p>
-----------------------	---

専門部会（就労支援部会）活動報告書

名 称	就労支援部会（ネットワーク型）
目 的	飯塚圏域における就労系福祉サービス事業所の方々が抱えている課題について、総合的に取り組めるように課題の整理を行い「就労支援部会」の取り組みとして、勉強会など企画・実行していくことを目的とする。
構成員領域	就労系福祉サービス事業所（移行支援事業所・A型事業所・B型事業所）／障がい者就業・生活支援センター／ハローワーク／学校関係行政職員／障がい者基幹相談支援センター職員
設置期間	設置期間に定め無し。
開催頻度	1回／月（第4火曜日 午後）
活動報告	<p>現在の部会の取り組みは6月と8月の2回に渡り就労系のイベントを行うための打ち合わせを行う。</p> <p>昨年までは教職員の方を中心に障がい福祉サービスの説明や卒業後の進路支援を中心に組んできていたが、今回は高等部等の学校での取り組み・進路選択支援について教職員の方々から話題を提供していただくことで、小学校・中学校保護者・児童・生徒の皆様が将来の事について考えるきっかけ作りとして取り組んで行く。</p> <p>1)「就労支援部会企画 教えてセンパイ！就職への道のり」</p> <p>内容</p> <p>飯塚圏域にある企業の担当者をお招きして、障がい者雇用の取り組みについての話題提供をしていただく。その後、障がい福祉サービスを利用し就職に繋がった方に登壇をしていただき、サービスを利用して就職をした経緯やこれからの目標などについて、就職を目指しサービスを利用している方に就職に向けた取り組みの参考にさせていただく。</p> <p style="text-align: center;">日 時：令和6年6月22日（土） 場 所：庄内保健福祉総合センターハーモニー 参加者：障がい福祉サービス利用者 （移行支援・A型・B型 放課後ディサービス事業所 就労系福祉サービス事業所 （移行支援・A型・B型 放課後ディサービス事業所） 相談支援専門員 学校・保護者関係 障がい者就業・生活支援センター ハローワーク 2市1町障害福祉担当者 基幹センター</p>

2) 「つながるフェス」

内容

①飯塚圏域在住の保護者の皆様を対象に進路選択に関し理解を深め学校の特徴や進路支援についての情報提供を行い、進路選択の理解を深めることで考えるきっかけ作りを目的とする。

②教職員・障がい福祉サービス事業所等支援機関の方々がそれぞれの立場から支援を通して感じる課題などについて意見交換をすることで連携を深め支援体制の構築を目的とする。

③事業所で製造している作品の販売会を行う。

見て・触って知っていただくことで、事業所の事を知るきっかけ作りとする。

午前の部 各学校の案内と進路支援の取り組み（7校程予定）

午後の部 意見交換会

日 時 令和6年8月3日（土）

場 所 桂川町住民センター

参加対象者 飯塚市・嘉麻市・桂川町在住の小・中学校児童・生徒
飯塚圏域小学校・中学校 県立特別支援学校・県立高校
私立高校 教職員
障がい福祉サービス事業所
(放課後デイ・就労系福祉サービス事業所)
相談支援事業所
障がい者就業・生活支援センター
基幹センター ハローワーク
2市1町担当者

8月以降はイベントを開催したことを振り返りながら、次回へ取り組みに向けて課題の抽出などを行っていく予定。

飯塚市・嘉麻市・桂川町

障がい者基幹相談支援センター等運営事業

令和5年度相談支援事業の報告及び令和6年度計画

資料 2-1 : ① 基幹相談支援センター

資料 2-2 : ② 基幹相談支援センターの機能強化事業

飯塚市・嘉麻市・桂川町
障がい者基幹相談支援センター等運営事業
令和5年度実施報告・令和6年度実施計画

令和6年7月19日
飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク
第1回全体会議

障がい者基幹相談支援センターの業務内容と人員体制

(1) 主な業務内容

地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

①総合的・専門的な相談支援の実施

障がいの種別や各種ニーズに対応する

- ・総合的な相談支援の実施
- ・専門的な相談支援の実施

③地域移行・地域定着の促進の取組

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係る調整

②地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者への専門的指導、助言
- ・相談支援事業者への人材育成
- ・相談機関との連携強化の取組

④権利擁護・虐待の防止

- ・成年後見制度利用支援事業
- ・虐待防止（兼・虐待防止センター）

⑤地域生活支援拠点等整備事業

・居住支援のための機能をもつ場所や体制整備
（相談、緊急時対応、体験の機会、専門的人材の確保、地域の体制作り）

※発達障がい児等相談支援機能強化事業については

「こども発達療育センター事業計画（案）

（相談部門トントン）」参照

(2) 人員体制

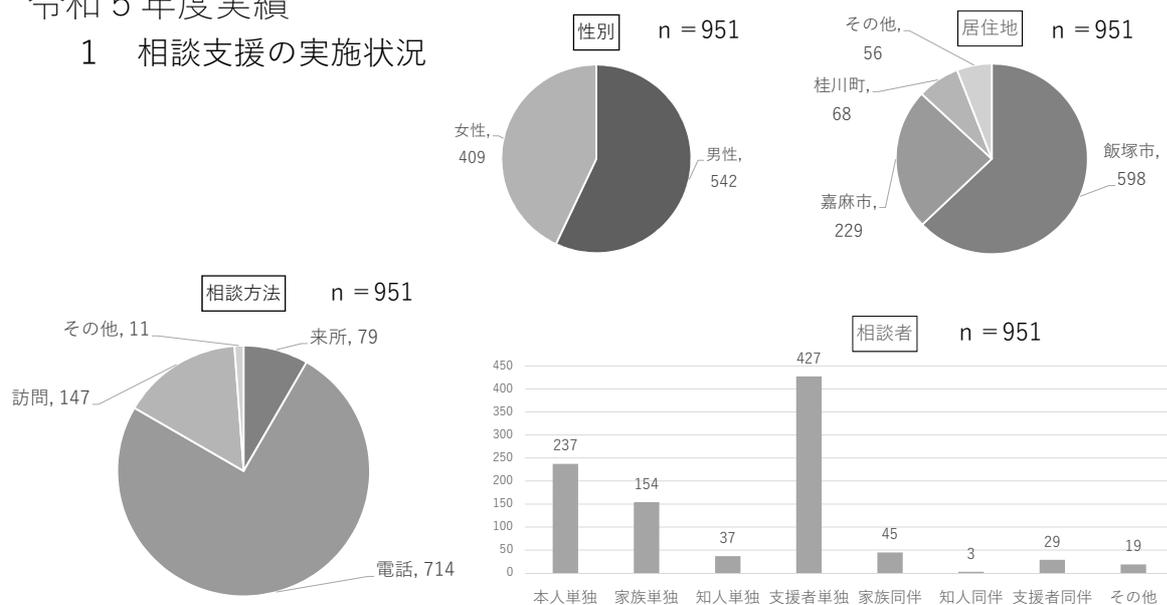
- ・常駐の専門的職員を配置
- ・業務責任者として、常勤職員のうち1名をセンター長とする
- ・常勤職員は概ね週40時間（月20日）の勤務
- ・非常勤職員は週25時間以上（月13日程度）の勤務
- ・非常勤職員の指定相談支援事業所または地域活動支援センター事業所との兼務は業務に支障がない範囲で可能とする
- ・専門的職員は相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士または保健師等の資格を有し、障がい者等の相談支援業務に関し5年以上の実務経験を有する者を配置する

職員配置状況	
常勤	8名
非常勤	1名

専門的資格の取得状況（重複）			
相談支援専門員	9名	社会福祉士	7名
精神保健福祉士	6名	介護福祉士	3名
介護支援専門員	1名	保育士	1名

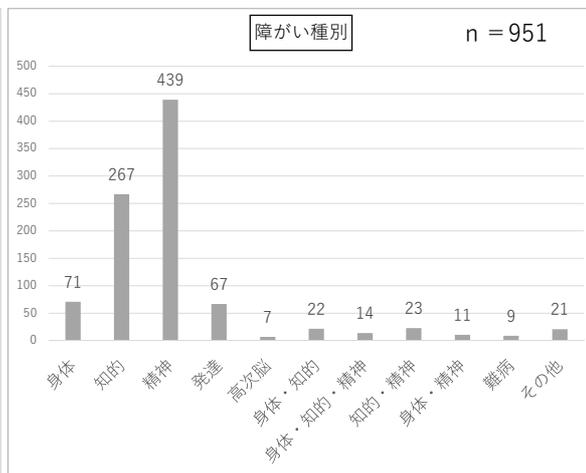
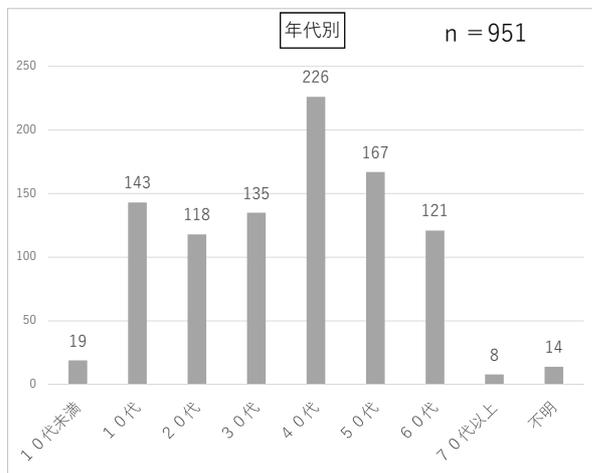
令和5年度実績

1 相談支援の実施状況



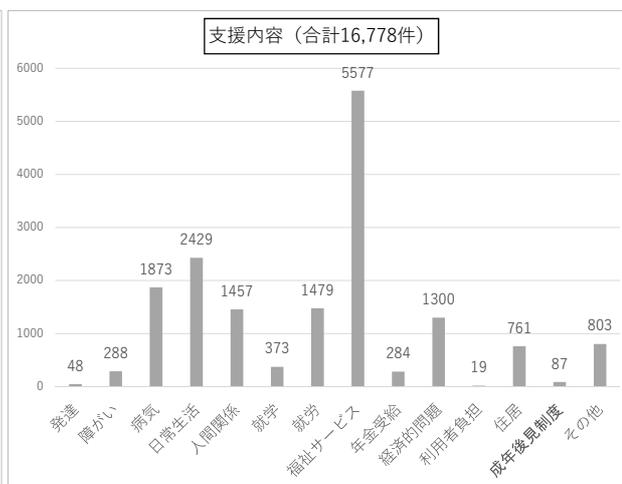
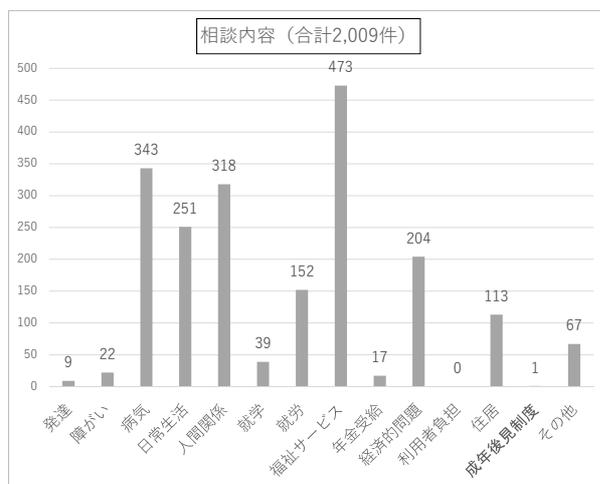
令和5年度実績

1 相談支援の実施状況



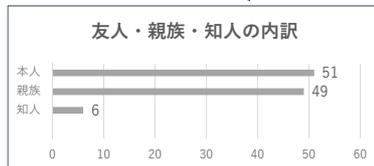
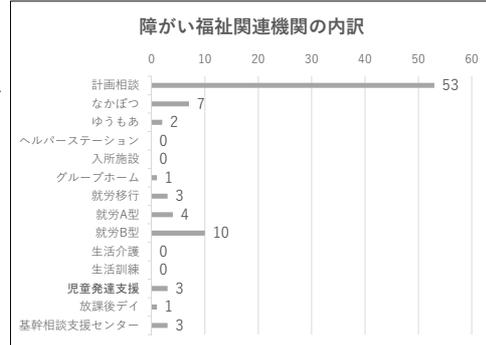
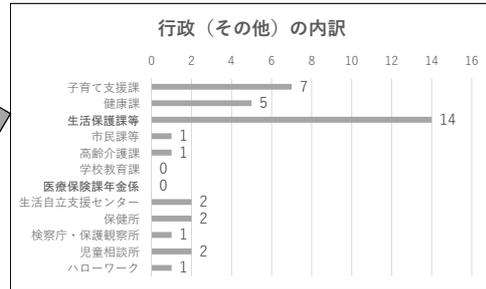
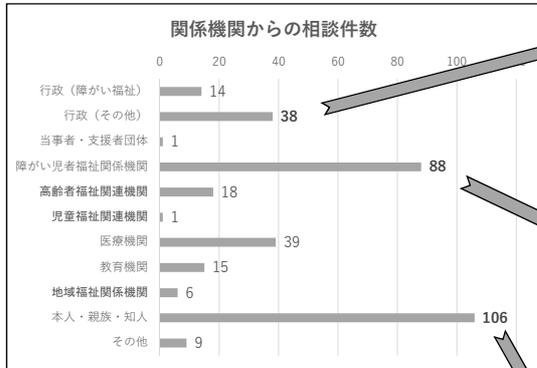
令和5年度実績

1 相談支援の実施状況



令和5年度実績

2 関係機関からの相談等



令和5年度実績

3 基幹相談支援センター会議 月2回開催

4 飯塚圏域自立支援ネットワークの活動内容

会議名		開催状況	特記事項
全体会議		年1~2回	8月25日、令和6年2月6日
運営事務局会議		毎月第3水曜日	
専門 部会	相談支援 部会	部会 偶数月第2金曜日	4月、6月、8月、10月、12月、2月
		企画会議	奇数月第2水曜日
	くらし 部会	部会 奇数月第2月曜日	5月、7月（豪雨中止）、9月、11月、1月、3月
		Pミーティング	偶数月第2火曜日
	こども 部会	部会 不定期	4月、1月 ネットワーク班：7月、10月、 ランチタイム研修（計5回）
就労支援 部会	部会 毎月第4火曜日	5月より毎月	

令和5年度実績

5 その他の活動

分野		開催状況	内容
就労支援	就労ネットワーク会議（オンライン）	毎月1回	就労移行事業所のネットワーク作り
	学校教育との意見交換会	8月1日	卒業に向けた進路支援について
相談支援	初任者研修現場実習	8月、9月 10月、11月	講義と演習
研修	スタートアップ研修	年3回	手帳制度、福祉サービスについて 社会保障について 虐待防止・権利擁護について
	スキルアップ研修 令和4年度分	6月23日	①ご家族・教職員向けワークショップ 自分を大切にできる性教育 ②従事者等向け 性と恋愛のより良い支援～人権擁護の視点から～
	令和5年度分	11月29日	ふつうの場所で愛する人との暮らしを
地域啓発	地域啓発研修		
拠点整備	地域生活拠点等整備打ち合わせ	毎月1回	体制作りについて協議
機能強化	発達障がい児等相談支援機能強化事業	随時	こども発達療育センター相談部門トントンの連携

令和5年度実績

6 地域啓発・講師派遣など

月	内容	月	内容
7月	ネットワークふくおか総会（事務局発表）	2月	直方特別支援学校高等部小藤講座（講師参加）
8月	ファンプレイス 虐待防止研修（講師参加）		笠松あんじゃ園 虐待防止研修（講師参加）
9月	誠心園 虐待防止研修（講師参加）		相談支援専門員現任者研修（講師参加）
	ファミリーサポートセンター講習会（講師参加）		地域活動支援センターIzumi（講師参加）
	主任相談支援専門員研修（ファシリ参加）	3月	ファミリーサポートセンター講習会（講師参加）
10月	粕屋保健福祉事務所関係機関会議（講師参加）		ひなの家 虐待防止研修（講師参加）
11月	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 （実行委員参加）		
12月	嘉麻燦燦 虐待防止研修（講師参加）		
	南筑後保健所精神障害者関係機関会議（講師参加）		
	地域活動支援センターIzumi（講師参加）		

令和5年度実績

7 研修・委員会活動等の参加実績

月	内容	月	内容
4月	アディクションネットワーク		第1回アディクションフォーラム2023in田川
	桂川町要保護児童対策委員会		飯塚市要対協実務者会議
5月	小児科医から見た子供の心と体		知的障がい者福祉協会相談支援部会
	アディクションネットワーク定例会	7月	ネットワークふくおか総会
	飯塚市民協会		飯塚市推進協議会
	週20時間未満就労モデル事業 オンライン説明会		福岡県若者自立支援機関連携会議
	ひきこもり支援者意見交換会		全国精神障害者地域生活支援協議会
	子どもを地域で支える会・筑豊研修会	8月	嘉麻市障がい者施策推進協議会
	飯塚市要対協代表者会議		嘉穂鞍手保健福祉事務所運営委員会
	WORK!DIVERSITY実証化モデル事業 オンライン説明会		嘉穂特別支援学校特別支援教育講演会
6月	難病のある方の就労支援者向け研修会		地域自立支援協議会担当者会議
	子どもを地域で支える会・筑豊講演会 ～ヤングケアラーという視点～	9月	福岡県知的障害者福祉協会会議

令和5年度実績

7 研修・委員会活動等の参加実績

月	内容	月	内容
9月	筑豊3センター合同企業との意見交換会		福岡県嘉穂鞍手地域引きこもり支援者ネットワーク会議
	要保護児童対策協議会		小児在宅医療推進事業研修会「口腔機能と姿勢の関係性」
	主任相談支援専門員研修	12月	精神科看護オンライン講演
	嘉麻市引きこもり対策勉強会		飯塚市重層的支援整備体制会議
10月	相談支援従事者・児童発達支援管理責任者 専門コース別研修（障がい児支援）		子どもを地域で支える会
	障がい者虐待防止研修（養護者）	1月	飯塚市就学指導委員会
	嘉麻市障がい者施策推進協議会		相談支援専門員現任研修
	重層支援整備体制会議		医療的ケア児等コーディネーター連絡会
	精神自立支援関係機関会議		医療的ケア児コーディネーター研修
	成年後見制度における市町村長申立等研修会		福岡県自立支援協議会担当者会議
11月	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修	2月	嘉麻市社会福祉協議会権利擁護委員会
	嘉麻市自殺対策協議会		嘉麻市引きこもり支援者会議
	第10回筑豊アディクションフォーラム		自殺未遂者支援連携強化会議

令和5年度実績

7 研修・委員会活動等の参加実績

月	内容	月	内容
2月	嘉麻市自殺対策協議会	3月	ネットワークふくおか合同研修
	第2回多職種連携研修会		知的障害者福祉協会相談部会
	障害者相談支援ネットワークふくおか 相談支援事業所ネットワーク部会筑豊ブロック研修		ネットワークふくおか福岡ブロック研修会
	飯塚市包括的相談支援機関会議		
	精神保健福祉講座		
	嘉麻市引きこもり支援者会議		
	子どもの虐待防止講演会		
	筑豊圏域就労セミナーHOP! STEP! WORK!		
	相談支援専門員現任者研修		
	医療的ケア児コーディネーター研修		
	小児在宅医療定例研修会		

飯塚市・嘉麻市・桂川町 障がい者基幹相談支援センター 令和6年度 事業実施計画

(主な業務内容) 地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

①総合的・専門的な相談支援の実施

障がいの種別や各種ニーズに対応する
 ・総合的な相談支援の実施
 ・専門的な相談支援の実施

③地域移行・地域定着の促進の取組

・入所施設や精神科病院への働きかけ
 ・地域の体制整備に係る調整

②地域の相談支援体制の強化の取組

・相談支援事業者への専門的指導、助言
 ・相談支援事業者への人材育成
 ・相談機関との連携強化の取組

④権利擁護・虐待の防止

・成年後見制度利用支援事業
 ・虐待防止(兼・虐待防止センター)

⑤地域生活支援拠点等整備事業

・居住支援のための機能をもつ場所や体制整備
 (相談、緊急時対応、体験の機会、専門的人材の確保、地域の体制作り)

※発達障がい児等相談支援機能強化事業については
 「こども発達療育センター事業計画(案)
 (相談部門トントン)」参照

令和6年度 年間スケジュール（案）

月	ネットワークの活動	研修会	月	ネットワークの活動	研修会
4月	相談支援部会 就労支援部会		10月	相談支援部会 こども部会医療的ケアグループ班 就労支援部会	スタートアップ研修②
5月	くらし部会 こども部会全体会 就労支援部会		11月	くらし部会 こども部会ネットワーク班 就労支援部会	権利擁護研修
6月	相談支援部会 こども部会ネットワーク班 就労支援部会		12月	相談支援部会 こども部会医療的ケアグループ班 就労支援部会	
7月	全体会議 こども部会医療的ケア児班 就労支援部会	スタートアップ研修①	1月	こども部会ネットワーク班 就労支援部会	スタートアップ研修③
8月	相談支援部会 くらし部会 こども部会医療的ケア児班 就労支援部会	学校・行政・福祉サ ービス事業所との意見交 換会	2月	相談支援部会 くらし部会 就労支援部会	
9月	こども部会ネットワーク班 就労支援部会	スキルアップ研修	3月	こども部会全体会 就労支援部会	

令和6年度 人員体制

- ・ 常駐の専門的職員を配置
- ・ 業務責任者として、常勤職員のうち1名をセンター長とする
- ・ 常勤職員は概ね週40時間（月20日）の勤務
- ・ 専門的職員は相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士または保健師等の資格を有し、障がい者等の相談支援業務に関し5年以上の実務経験を有する者を配置する

職員配置状況		専門的資格の取得状況（重複）			
常勤	9名	相談支援専門員	9名	社会福祉士	7名
		精神保健福祉士	6名	介護福祉士	3名
		介護支援専門員	1名	保育士	1名

こども発達療育センター テコテコ
相談部門 トントン
発達障がい児等相談支援機能強化事業

◇令和5年度 事業実施報告

◇令和6年度 事業実施計画

令和5年度
トントン

事業実施報告



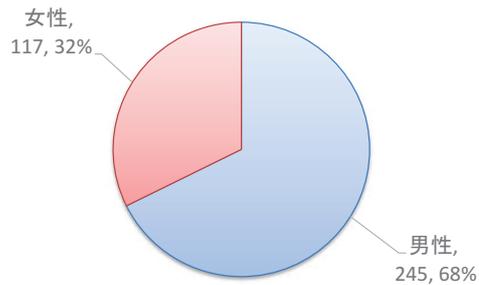
トントン 事業実施報告

1. 相談者

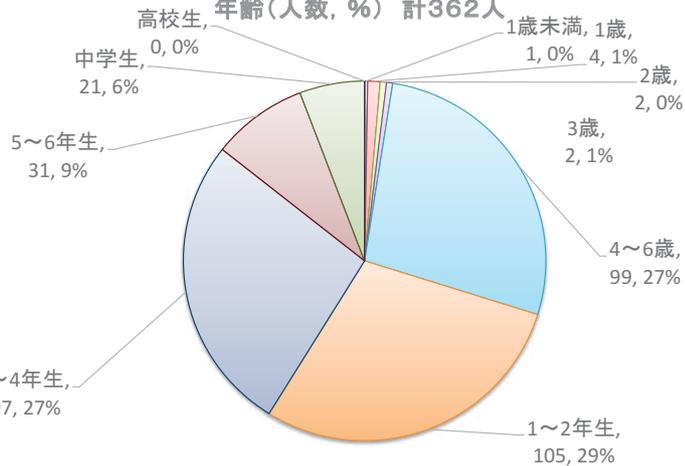
新規相談者数(人数) R3 計 90人 月平均7.5人
 R4 計116人 月平均9.7人
 R5 計107人 月平均8.9人



性別(人数, %) 計362人



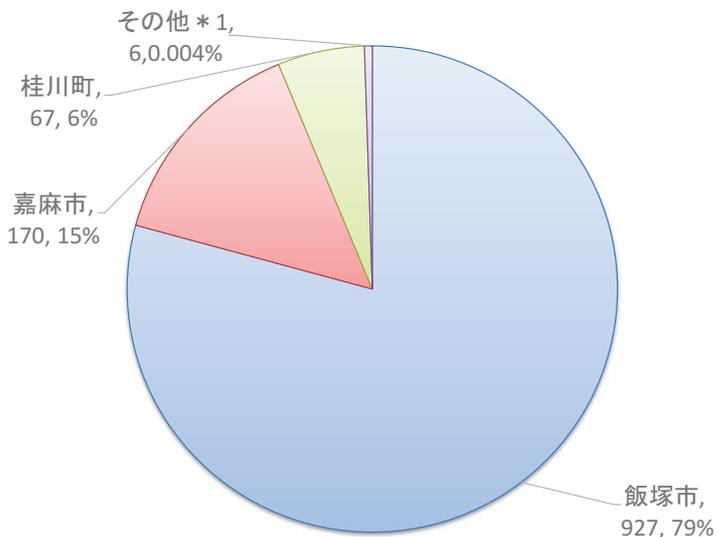
年齢(人数, %) 計362人



トントン 事業実施報告

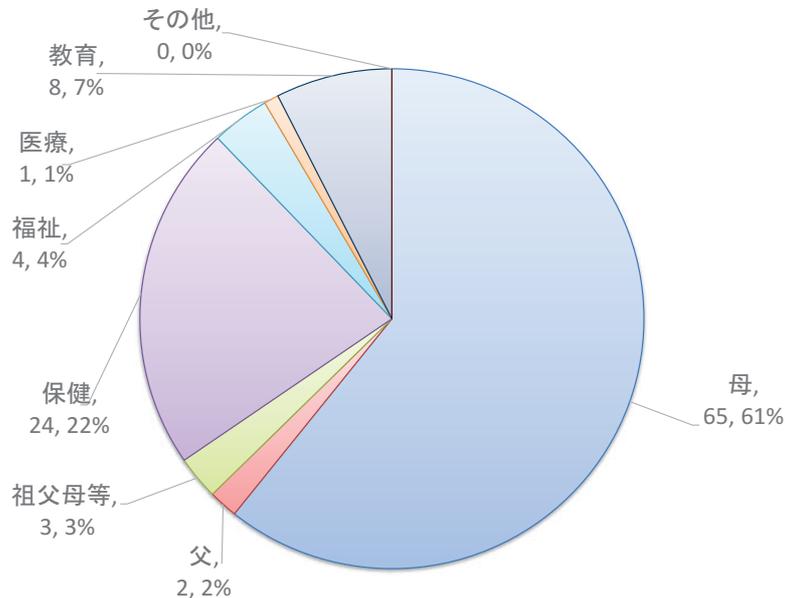
1. 相談者

居住地(支援回数, %) 計1170回



*1 他圏域: 田川、直鞍、糟屋

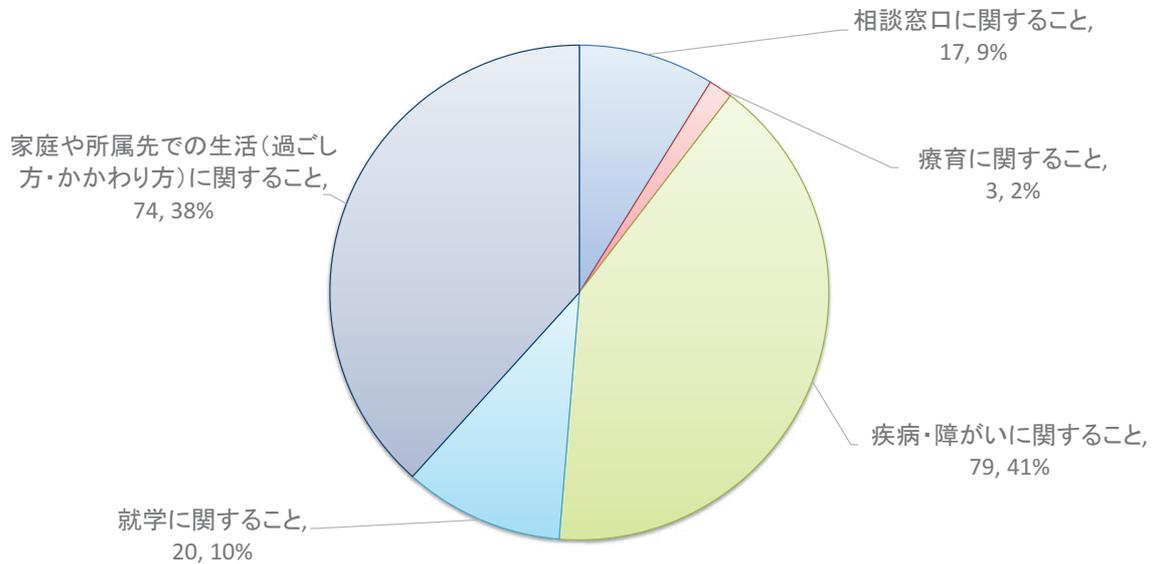
新規相談時相談者(人数, %) 計107人



トントン 事業実施報告

2. 支援内容

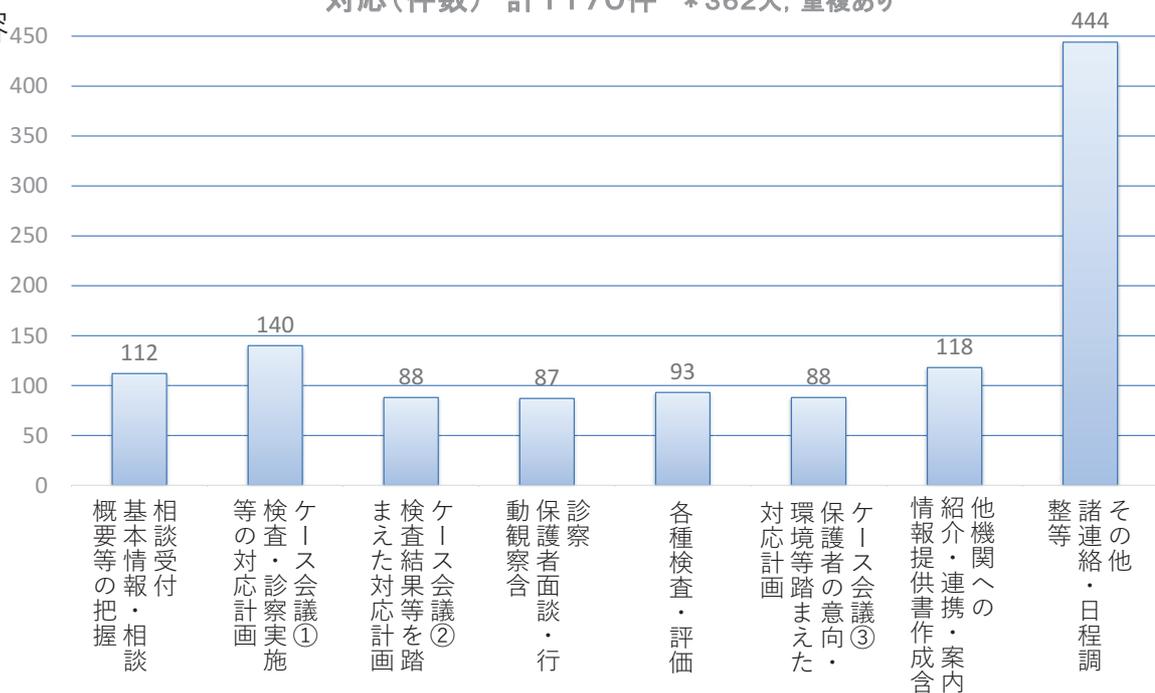
新規相談時 相談内容(受付件数, %)
計193件 *107人, 重複あり



トントン 事業実施報告

2. 支援内容

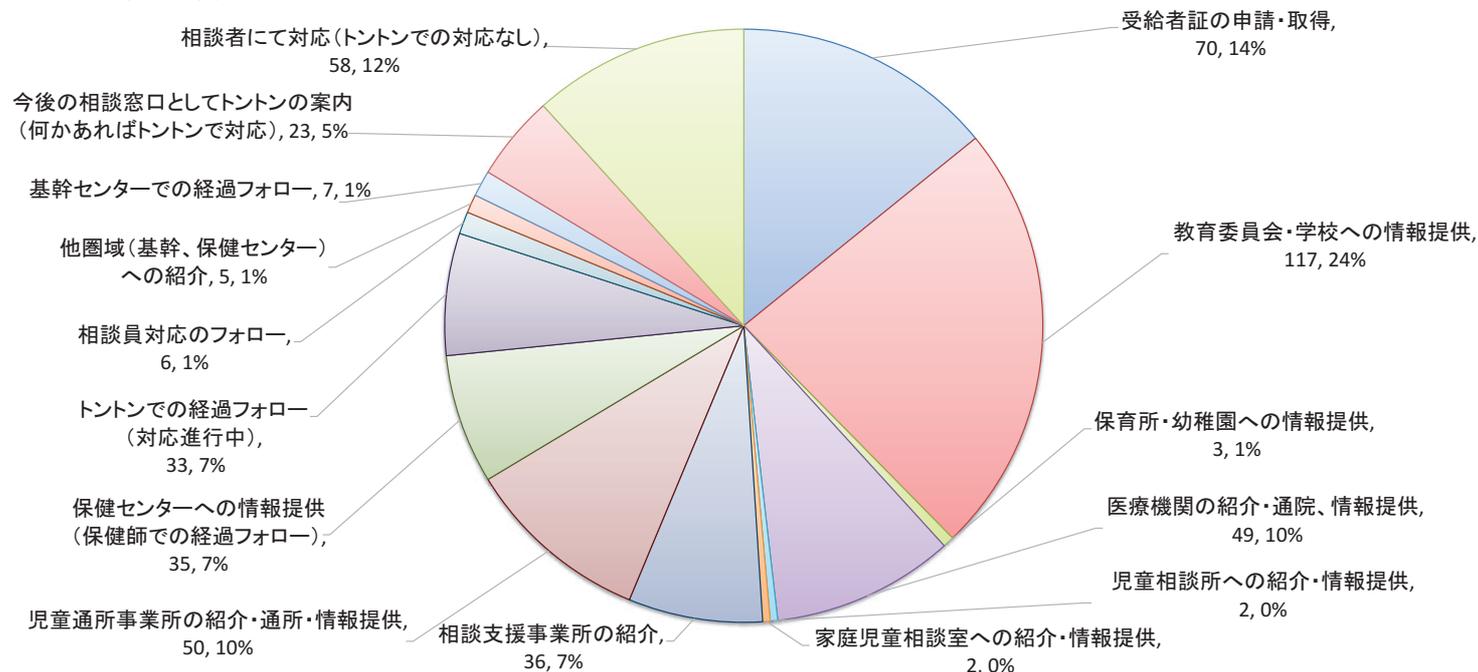
対応(件数) 計1170件 *362人, 重複あり



トントン 事業実施報告

令和6年3月現在 帰結(件数, %) 計496件 * 331人, 重複あり

2. 支援内容



トントン 事業実施報告

3. その他

- ・ 第3回 こども発達療育センター テコテコ 運営委員会
令和5年10月11日
- ・ 飯塚病院（リハビリテーション部 小児リハビリ）出向
週1回
（主な内容） ケース相談・ケースチェック、PT・OT・ST協業体制の整備、地域課題としての摂食・嚥下支援体制の構築
- ・ 桂川町での保育士さんを対象とした神経発達症に関する学習会
令和6年3月5日

令和6年度 トントン

事業実施計画



事業内容

引き続き、相談者に対し、以下のことを行う

1. 相談受付 基本情報、相談概要等の把握
2. ケース会議① 検査・診察実施等の対応計画
3. ケース会議② 検査結果等を踏まえた対応計画
4. 診察 保護者面談、行動観察含む
5. 各種検査・評価
6. ケース会議③ 保護者の意向・環境等を踏まえた対応計画
7. 他機関への紹介・連携・案内 情報提供書作成含む
8. その他 諸連絡・日程調整等

地域生活支援拠点等整備事業・

日中サービス支援型共同生活援助の活動報告

資料 3-1 : ① 地域生活支援拠点等の整備事業について

資料 3-2 : ② 地域生活支援拠点等の整備事業の活動報告

資料 3-3 : ③ 日中サービス支援型共同生活援助の活動報告

- ・ 障がい福祉サービス事業所ホームファイトⅡ
(社会福祉法人ひなの家)
- ・ Hilltop Garden 雅 (社会福祉法人嘉穂の里)
- ・ グループホームあさひの里 (社会福祉法人天満会)
- ・ シェアハウス喜富 (一般社団法人C・ネット福岡)
- ・ ソーシャルインクルーホーム飯塚平恒
(ソーシャルインクルー株式会社)

地域生活支援拠点等整備事業について

《概要》

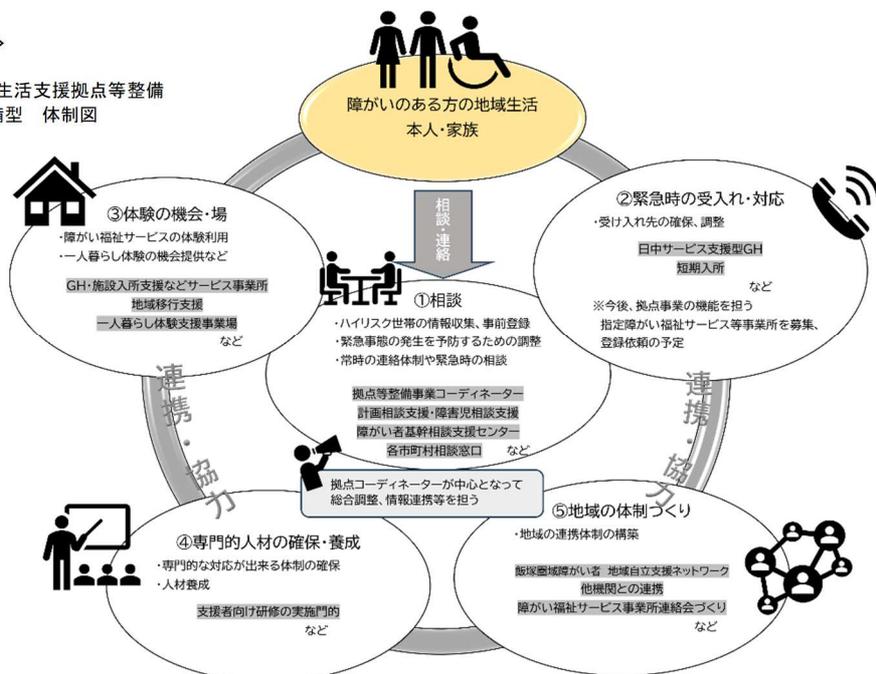
地域生活支援拠点等とは、障がい者及び障がい児の障がいの重度化及び高齢化並びに「親亡き後」を見据え、障がい者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするため、障がい者等の生活を地域で支える機能をもつ場所や体制のこと

《地域生活支援拠点等の機能》

①相談
拠点コーディネーターが中心となり、基幹相談支援センター、特定相談支援事業所、障害児相談支援事業所等との連携により緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握した上で、常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネート、相談その他必要な支援を行う機能
②緊急時の受入れ・対応
短期入所等を活用した緊急受入体制等を確保した上で、介護者の急病、障がい者等の状態変化等の緊急時の受入れ、医療機関への連絡等の必要な対応を行う機能
③体験の機会・場
地域移行支援、親元からの自立等にあたり、障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能
④専門的人材の確保・養成
医療的ケアが必要な者、行動障がいを有する者、高齢化に伴い障がいが重度化した障がい者等に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や専門的な対応ができる人材の養成を行う機能
⑤地域の体制づくり
地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能

《整備手法》

飯塚圏域 地域生活支援拠点等整備
面的整備型 体制図



地域生活支援拠点等整備事業 活動報告書

活動報告	<p>❖会議打ち合わせ</p> <p>【開催頻度】月に1回（内容によっては2回）</p> <p>【参加者】行政職員/障がい者基幹相談支援センター職員</p> <p>令和5年度</p> <p>【開催日】令和5年9月15日（金）</p> <p>【場 所】おためしハウス326（桂川町）</p> <p>【内 容】宿泊体験事業（体験ルーム）についての流れの確認 施設見学</p> <p>【開催日】令和5年10月31日（火）</p> <p>【場 所】基幹相談支援センター</p> <p>【内 容】体験ルームについて ・稼働にあたっての環境整備、備品の準備 飯塚市内民生委員定例会での説明会準備</p> <p>【開催日】令和5年11月22日（水）</p> <p>【場 所】基幹相談支援センター</p> <p>【内 容】事業所ガイドライン作成準備</p> <p>【開催日】令和5年12月18日（月）</p> <p>【場 所】基幹相談支援センター</p> <p>【内 容】事業所ガイドライン（案）内容確認 事業所連絡会に向けての打ち合わせ</p> <p>【開催日】令和6年1月16日（火）</p> <p>【場 所】基幹相談支援センター</p> <p>【内 容】体験ルーム備品搬入報告 事業所ガイドライン修正</p> <p>【開催日】令和6年2月7日（水）</p> <p>【場 所】基幹相談支援センター</p> <p>【内 容】飯塚市民生委員定例会 出席日程調整 運営要領内容の見直し</p>
------	---

	<p>【開催日】令和6年2月22日（木）</p> <p>【場 所】基幹相談支援センター</p> <p>【内 容】拠点事業に関連する加算内容の整備 事業所登録制に関連する書類等の確認</p> <p>令和6年度</p> <p>【開催日】令和6年5月2日（木）</p> <p>【場 所】桂川町総合福祉センターひまわりの里</p> <p>【内 容】拠点事業に関連する加算内容の整備 ・打ち合わせの書類確認、作成</p> <p>【開催日】令和6年5月7日（火）</p> <p>【場 所】基幹相談支援センター</p> <p>【内 容】拠点事業に関連する加算内容の整備 ・報酬改定後の内容確認 事業所登録制に関連する書類等の確認</p> <p>【開催日】令和6年6月14日（金）</p> <p>【場 所】基幹相談支援センター</p> <p>【内 容】拠点事業に関連する加算内容の整備 ・報酬改定後の内容確認 事業所説明会に向けた確認</p>
	<p>❖ 民生委員・児童委員定例会での事業紹介</p> <p>【目的】基幹センター、拠点事業内容の説明と活用依頼 現時点でサービス利用等のない孤立した世帯に対して該当 するような案件があれば連携していきたい旨を説明 地域において顔の見える関係作りの第一歩として定例会に参加</p> <p>【出席】</p> <p>令和6年1月9日（筑穂地区 32名） 2月1日（立岩地区 16名） 2月8日（穂波地区 49名） 2月14日（菰田地区 12名） 3月5日（庄内地区 25名） 3月6日（片島地区 6名）</p>

	<p>3月7日（幸袋地区 23名）3月12日（飯塚地区 17名） 3月13日（二瀬地区 32名） 4月4日（飯塚東地区 22名）4月8日（鎮西地区 18名） 4月10日（潁田地区 21名）4月11日（鯉田地区 13名）</p>
	<p>❖体験ルームについて 【利用】令和6年3月15日（金）～17日（日）…2泊3日 【対象】10代男性 【住所地】飯塚市 【内容】・食事の用意や掃除などの普段経験のないことを実践する ・家族の元を離れ、自分のペースで「一人で過ごす」を経験する ・1か月の生活費についてのシュミレーションをする</p>
今後の活動 （予定）	<p>❖（仮）施設連絡会にむけて 【時期】令和6年9月頃開催予定 【対象】居住系事業所、日中サービス系事業所 【内容】・地域生活支援拠点等整備事業の趣旨説明 ・緊急時対応に関する利用者・福祉サービス事業所への登録に向けた協力依頼 ・地域生活支援拠点等整備事業位置づけの登録、対応時に算定できる加算の整備・案内</p>

日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価シート

記入日：令和 6 年 6 月 26 日

事業所名： グループホームファイトII

I 施設概要	事業開所日		2020年 4 月 1 日			
	法人名称		社会福祉法人ひなの家			
	事業所名称		障害福祉サービス事業所ホームファイトII			
	住居名称・定員数		住居名：	嘉穂郡桂川町土師4293番地3	定員：	10
			住居名：		定員：	人
	住居所在地					
短期入所定員		定員： 1 人				
2 利用者状況	障害支援区分	人数	年齢	人数	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)	
	非該当	人	10代以下	人	身体	総数： 1人
	区分1	人	20代	6人		主に日中GHで過ごす人数： 人
	区分2	人	30代	人	知的	総数： 10人
	区分3	人	40代	3人		主に日中GHで過ごす人数： 人
	区分4	人	50代	1人	精神	総数： 1人
	区分5	3人	60代	人		主に日中GHで過ごす人数： 人
	区分6	7人	65歳以上	人	難病	総数： 人
	合計	10人				主に日中GHで過ごす人数： 人
	障害特性		医療的ケアの必要な者：			
強度行動障害のある者：				5人		
3 運営・支援について	1) 日中の支援方法について					
	① 日中をグループホームで過ごす利用者に対しての支援について。		食事、バイタルチェック、入浴、排せつ等日常的な支援を行いながら、買い物など個別に合わせた支援を提供する。			
	② 外出や余暇活動の支援について。		日用品の買い物や映画鑑賞や登山、プール、ドライブなどの外出支援を提供する。年齢層が若いため、身体を使うことで情緒安定にも繋がっている。			
	③ 利用者の希望に沿った適切なサービス利用に関する支援について。		月に一度、ホームミーティングを開催。利用者さんから要望や苦情などを聞き、グループホームでの生活に安心などがもてるように取り組んでいる。言葉で伝えることが出来ない利用者さんへは、写真を提示したり、選択肢を提供するなど、意思疎通は工夫を行っている。			
2) 地域との交流方法						
① 利用者と地域との交流を広げるための取り組みについて。		町内会の組に加入し、掃除や常会に参加し、地域の方との関わりを大切にしている。草取りやゴミ拾いを行い、地域の美化運動を積極的に行っている。あいさつ運動の取り組みも法人全体で行い、地域の方々と顔見知りになり、利用者さんのことを覚えて声をかけて頂いたり、時には、お庭の果物を収穫させて頂いたり、良い関係作りが長い期間かけて築いてくれた。				

3) 利用者の健康管理	
①利用者の体調変化による緊急時の迅速な対応について・利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫について。	<p>日常的にバイタル測定・体重測定・健康チェックを行い、必要に応じて協力医と連携し、いつでも指示を受けられる体制を整える。症状を訴えることが出来ない利用者さんも多く、表情や食事の様子などを観察し、異変に早期に気づけるように取り組んでいる。通院支援も行い、年に一度の健康診断、胃カメラ、大腸検査、女性は乳がん、子宮がん検診を受けている。昨年度は、乳がん初期の方もみつかると。初期のため、患部の切除手術や放射線治療で済んだ。治療などのサポートを行い、利用者さんも安心して治療を受けることができた。</p>
4) 利用者の食事について	
①利用者の心身の状況に応じた食事提供と支援について。 ②食事は利用者の志向を考慮した献立を基本として美味しく食べられる工夫について。	<p>①と②併せて、食事支援には特に力を入れて取り組んでいる。地元野菜や季節のもの、地域の食材を活用して、手作りにこだわり、家庭と同じような食事の提供に務めている。食器や彩りも工夫し、五感を使って食事できるように努力している。残飯もない。食事形態は個別の状態に合わせて行う。年に一度、保護者へ試食会も行い、量や味、その他の意見アンケート調査も実施している。</p>
5) 利用者の権利擁護の配慮について	
①利用者のプライバシー保護と権利擁護に配慮した取り組みについて。	<p>権利擁護等の研修会を受講したり、朝礼や終礼、職員会議時には倫理綱領の唱和をするなど、常に意識付けできるように取り組んでいる。職員研修も行う。書類管理や個人情報保護について新人研修の中に取り入れる。施設の情報発信（SNS等）では本人・保護者の同意書を頂き、掲載の許可を得るようにしている。</p>
②利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止・発生時の対応について。	<p>共同生活援助の包括型グループホーム内で、虐待事案があった。事実確認を行いながら、虐待防止委員会を緊急で開き、事案について検討し、すぐさま虐待通報を行った。虐待事案と虐待通報を行った事について、職員会議を開き、虐待防止・身体拘束防止についての研修を直ちに行った。</p> <p>市や虐待防止センターより聞き取り調査を受け、身体的虐待と認定を受ける。この結果を受け、法人全体での会議や部署会議、責任者会議、虐待防止委員会等を開き、全職員で再発防止、虐待・身体拘束防止等について周知徹底を行う。</p> <p>外部講師を招き、理事長初め全職員で虐待・身体拘束防止の研修を受け、全職員で虐待撲滅について再確認を行った。</p>
③利用者の金銭管理に方法について。	<p>毎月、本人の要望や計画立ての面談を行いながら日常の管理支援を行う。保護者にも定期的に通帳やご本人のお小遣帳の確認を行ってもらっている。保護者からの搾取の疑いのある利用者さんについては、相談員、行政・ケースワーカー等と情報の共有を行い対応している。</p>

事業所名： グループホームファイトⅡ

6) 利用者の安全確保	
①安心・安全な福祉サービスの提供を目的としたリスクマネジメント体制について。	BCPを策定し、日常的に様々な状況を想定した訓練等を行っている。 細かなヒヤリハット報告を共有することで、事故防止や再発防止、支援の向上に向けて取り組んでいる。
②災害時における利用者の安全確保のための取り組みについて。	災害や感染症を想定した訓練を定期的実施する。地域の方にも避難誘導や、避難場所の提供をして頂いている。 災害用品の備蓄や、ローリングストックを行い、災害に備えた取り組みを行っている。
7) 計画相談	
①利用者に対するモニタリングが適切に実施されるように相談支援事業所との連携について。	ケア会議の中で、日常の様子や本人の要望等アセスメントやモニタリングがされており、サビ管や支援員とも情報の共有を常に行っている。
②別法人の計画相談作成者数。	②別法人の計画相談作成者数 10 人
③自法人の計画相談作成者数。	③自法人の計画相談作成者数 人
8) 職員の質の向上に向けた体制作り	
①職員一人一人の育成に向けた取り組みについて。	新人研修や入社時の研修のカリキュラムを作成する。年間行事の中で、マナー研修、虐待防止研修、パワハラ研修、救命講習など様々な研修を取り入れている。人事考課制度も導入しており、キャリアアップに向けたサポート体制も構築してきた。マニュアル等について、誰もが見て分かりやすいものを作成し、見直しをしながら、業務改善を行い、働きやすい職場づくりをしている。
9) 短期入所の受け入れ	
①地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか。	①(通常受け入れ人数) 月平均 5 人
②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	②(緊急受け入れ人数) 年間 1 人 (緊急受け入れ事例) 昨年度は、大雪の際に身動きがとれな方を緊急で受け入れを行った
10) 自由意見	
①日中支援型を行うにあたって課題について等・自由記入	特にありません

日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価シート

記入日：令和 6年 6月 25日

事業所名： Hilltop Garden 雅

1 施設概要	事業開所日		令和2年 7月 1日			
	法人名称		社会福祉法人 嘉穂の里			
	事業所名称		Hilltop Garden 雅			
	住居名称・定員数		住居名：	E棟	定員：	10人
			住居名：	W棟	定員：	10人
	住居所在地		福岡県嘉穂郡桂川町土師1103-29			
短期入所定員		定員： 5人				
2 利用者状況	障害支援区分	人数	年齢	人数	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)	
	非該当	人	10代以下	人	身体 総数： 人 主に日中GHで過ごす人数： 人	
	区分1	人	20代	1人		
	区分2	人	30代	2人	知的 総数： 20人 主に日中GHで過ごす人数： 9人	
	区分3	人	40代	2人		
	区分4	人	50代	4人	精神 総数： 人 主に日中GHで過ごす人数： 人	
	区分5	2人	60代	5人		
	区分6	18人	65歳以上	6人	難病 総数： 人 主に日中GHで過ごす人数： 人	
	合計	20人				
	障害特性		医療的ケアの必要な者：			人
強度行動障害のある者：			11人			
3 運営・支援について	1) 日中の支援方法について					
	①日中をグループホームで過ごす利用者に対する支援について。		個別支援計画のもと、生活支援を中心に健康管理や障害特性に合わせて機能訓練、脳トレ、軽運動等でADL等の残存機能維持を行う。			
	②外出や余暇活動の支援について。		月に2回の買い物等の外出、余暇時間は併設のカフェ利用やカラオケやウォーキングマシンを使って運動やダンスを行う。			
	③利用者の希望に沿った適切なサービス利用に関する支援について。		アンケート調査を事前に行い、要望事項として会議の場で検討し利用者様のニーズに沿った、個別支援計画を年2回作成して実行へと移す。			
	2) 地域との交流方法					
	①利用者と地域との交流を広げるための取り組みについて。		行政区の加盟やもちつき交流会等で地域のボランティアの方や学生との交流を図る。また併設しているカフェを定期的に利用することで地域の方々との交流を行う。			
	3) 利用者の健康管理					
①利用者の体調変化による緊急時の迅速な対応について・利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫について。		常勤看護師による毎日の健康チェックや協力医の訪問を行っている。緊急時は対応マニュアルを活用することで24時間の迅速な対応が行える。また定期的な訪問リハ、訪問看護、訪問マッサージを利用者様が個別契約を行い毎日の健康状態を保てるように出来ている。				

事業所名: Hilltop Garden 雅

4) 利用者の食事について	
①利用者の心身の状況に応じた食事提供と支援について。	常勤栄養士による、重度、高齢利用者様への対応メニュー(カロリー、減塩、食事形態など)を取り入れて、また食欲低下利用者様には、個別の栄養補助食品や補助飲料の提供も行っている。
②食事は利用者の志向を考慮した献立を基本として美味しく食べられる工夫について。	年2回の嗜好調査をメニューに反映し、食事提供時ではリビングでの雰囲気づくり(BGM等)を考えて行っている。
5) 利用者の権利擁護の配慮について	
①利用者のプライバシー保護と権利擁護に配慮した取り組みについて。	同性介助を基本に、個室やプライベート空間を重視して、意見箱の活用として要望書等でニーズ沿った対応を行っている。
②利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止・発生時の対応について。	事故や怪我等による防犯カメラでの現場確認や第三者評価を受け外部からの確認等を行った。
③利用者の金銭管理に方法について。	金銭管理は事業所で行い、必要に応じて利用者様の要望等で入出金を行うと共に毎月の出納帳による確認と保護者等への通知を行っている。
6) 利用者の安全確保	
①安心・安全な福祉サービスの提供を目的としたリスクマネジメント体制について。	防災、防犯、緊急時の訓練やマニュアルの見直しを定期的に行い、連絡網では24時間体制で行っている。またイベント等には事前に危険予知活動を行っている。
②災害時における利用者の安全確保のための取り組みについて。	年2回の避難訓練を通して、スタッフ、利用者様への周知と法人内の他事業所との連携や被災受入れ等での安全確保を行うようにしている。また災害等の内外部研修を行っている。
7) 計画相談	
①利用者に対するモニタリングが適切に実施されるように相談支援事業所との連携について。	当事業所内に相談支援事業所を併設しているため、定時モニタリングはもとより、毎日の様子観察も行っている。
②別法人の計画相談作成者数。	②別法人の計画相談作成者数 0 人
③自法人の計画相談作成者数。	③自法人の計画相談作成者数 20 人
8) 職員の質の向上に向けた体制作り	
①職員一人一人の育成に向けた取り組みについて。	新規スタッフには新人育成マニュアルに沿って勤務してもらい、勤続年数によって育成研修等を行い、年2回の知識向上テストと法人内部研修を行っている。また定期的な個別面談により疑問点等で業務改善の取組みが行えている。
9) 短期入所の受け入れ	
①地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか。	①(通常受け入れ人数) 月平均 0 人
②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	②(緊急受け入れ人数) 年間 0 人 (緊急受け入れ事例)
10) 自由意見	
①日中支援型を行うにあたって課題について等・自由記入	

日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価シート

記入日：令和6年7月1日

事業所名： 第二あさひの里

Ⅰ 施設概要	事業開所日		平成31年 4月 1日		
	法人名称		社会福祉法人 天満会		
	事業所名称		グループホーム 第二あさひの里		
	住居名称・定員数		住居名:	定員:	18人
			住居名:	定員:	人
	住居所在地		飯塚市椋本457-3		
短期入所定員		定員: 2人			
Ⅱ 利用者状況	障害支援区分	人数	年齢	人数	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)
	非該当	0人	10代以下	0人	身体 総数: 2人 主に日中GHで過ごす人数: 2人
	区分1	0人	20代	2人	
	区分2	0人	30代	2人	知的 総数: 14人 主に日中GHで過ごす人数: 1人
	区分3	2人	40代	4人	
	区分4	3人	50代	4人	精神 総数: 0人 主に日中GHで過ごす人数: 0人
	区分5	0人	60代	3人	
	区分6	11人	65歳以上	1人	難病 総数: 0人 主に日中GHで過ごす人数: 0人
	合計	16人			
	障害特性		医療的ケアの必要な者:		
強度行動障害のある者:			3人		
Ⅲ 運営・支援について	1) 日中の支援方法について				
	① 日中をグループホームで過ごす利用者に対する支援について。		生活リズムを保てるようになるべく日中は起きて活動に参加できるように促す。障害特性が強い利用者が多い為、本人のペースに合わせながら興味を持つ内容を提供する。		
	② 外出や余暇活動の支援について。				
	③ 利用者の希望に沿った適切なサービス利用に関する支援について。		利用者の意思を尊重し訴えに耳を傾ける。可能な限り実現できるように努めているが、常にお菓子やコーヒーを欲しがるときなどは理解できるように説明し、違う事に関心が持つように場面転換を心掛けたりしている。		
	2) 地域との交流方法				
① 利用者と地域との交流を広げるための取り組みについて。		現在は実行できていない。近隣を散歩している時に挨拶したり交流を図っている程度で今後の課題である。			

事業所名： 第二あさひの里

3) 利用者の健康管理	
①利用者の体調変化による緊急時の迅速な対応について・利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫について。	かかりつけ医と連携を図り情報交換を小まめに行っている。また、必要な利用者には訪問診療、訪問看護を利用し適切なアドバイスを受けている。自ら体調不良を訴える事が出来ない人が多いので、日々のバイタルチェック、食事、水分、排泄量を観察し、早期発見できるように努めている。
4) 利用者の食事について	
①利用者の心身の状況に応じた食事提供と支援について。	外部委託している業者から提供。バランスの取れた食事を提供している。
②食事は利用者の志向を考慮した献立を基本として美味しく食べられる工夫について。	ふりかけや調味料など訴えに応じて提供出来る様に工夫する。月に2回利用者へアンケートして麺類やパンなど対応出来る様にしている。希望時には個別に外食や弁当など対応している。
5) 利用者の権利擁護の配慮について	
①利用者のプライバシー保護と権利擁護に配慮した取り組みについて。	必要な利用者に関しては後見人制度を活用し管理している。
②利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止・発生時の対応について。	月1回、職員アンケートを実施し研修会を実施している。不適切な対応や言動があればその都度個別指導し改善できるように努めている。
③利用者の金銭管理に方法について。	家族や後見人から預かったお小遣いは事務所の金庫で管理し出納帳をつけ定期的に家族へ写しを渡し報告するようにしている。
6) 利用者の安全確保	
①安心・安全な福祉サービスの提供を目的としたリスクマネジメント体制について。	内外部に防犯カメラを設置し危険行動を察知する。利用者が外へ飛び出さないように施錠を徹底し安全に配慮する。
②災害時における利用者の安全確保のための取り組みについて。	消防設備業者による機器点検を定期的実施する。年2回避難訓練を実施している。
7) 計画相談	
①利用者に対するモニタリングが適切に実施されるように相談支援事業所との連携について。	6ヶ月に1回モニタリングを実施。利用者の状況を相談支援員へ報告しアドバイスや助言をもらっている。
②別法人の計画相談作成者数。	②別法人の計画相談作成者数 6人
③自法人の計画相談作成者数。	③自法人の計画相談作成者数 10人
8) 職員の質の向上に向けた体制作り	
①職員一人一人の育成に向けた取り組みについて。	法人内で経験の長い職員を派遣し法人研修を実施。また、外部研修への参加も積極的に促しスキルアップを図る。

事業所名： 第二あさひの里

9) 短期入所の受け入れ	
①地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか。	①(通常受け入れ人数) 月平均 2人
②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	②(緊急受け入れ人数) 年間 1人 (緊急受け入れ事例) 在宅で夫婦で生活している女性が夫からDVを受け一時避難させたい、と基幹センターより依頼ある。受け入れ態勢をと整えそのままグループホームへ入居した。
10) 自由意見	
①日中支援型を行うにあたって課題について等…自由記入	①職員の利用者への対応やストレスに関して…いつもお菓子を欲しがり貰えないと暴れたり他害行為する利用者の対応に悩む。職員全体で統一した支援が必要。また、他害行為がある利用者への対応困難で職員がストレスを抱え込むケースもある。

日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価シート

記入日：令和6年7月3日

事業所名： シェアハウス喜富2号館

1 施設概要	事業開所日		令和4年5月1日		
	法人名称		一般社団法人C・ネット福岡		
	事業所名称		シェアハウス喜富2号館		
	住居名称・定員数		住居名： シェアハウス喜富2号館	定員： 14人	
			住居名：	定員： 人	
	住居所在地		飯塚市立岩1077-55		
短期入所定員		定員： 1人			
2 利用者状況	障害支援区分	人数	年齢	人数	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)
	非該当	2人	10代以下	3人	身体 総数： 1人 主に日中GHで過ごす人数： 1人
	区分1	1人	20代	6人	
	区分2	1人	30代	3人	知的 総数： 14人 主に日中GHで過ごす人数： 14人
	区分3	2人	40代	人	
	区分4	8人	50代	2人	精神 総数： 1人 主に日中GHで過ごす人数： 1人
	区分5	人	60代	人	
	区分6	人	65歳以上	人	難病 総数： 人 主に日中GHで過ごす人数： 人
	合計	14人			
	障害特性		医療的ケアの必要な者：		
強度行動障害のある者：			0人		
3 運営・支援について	1) 日中の支援方法について				
	①日中をグループホームで過ごす利用者に対する支援について。		自分なりの時間の過ごし方の支援		
	②外出や余暇活動の支援について。		外出先・帰宅時間・送迎支援		
	③利用者の希望に沿った適切なサービス利用に関する支援について。		買い物支援・室内清掃希望者支援		
	2) 地域との交流方法				
	①利用者と地域との交流を広げるための取り組みについて。		買い物同行・施設まわりの清掃		
	3) 利用者の健康管理				
	①利用者の体調変化による緊急時の迅速な対応について・利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫について。		訪問看護や職員への連絡網提示・服薬管理等		
	4) 利用者の食事について				
	①利用者の心身の状況に応じた食事提供と支援について。		栄養バランスや個人の摂取量の把握支援		
②食事は利用者の志向を考慮した献立を基本として美味しく食べられる工夫について。		季節のメニューや希望メニューの取り組み			

事業所名： シェアハウス喜富2号館

5) 利用者の権利擁護の配慮について	
①利用者のプライバシー保護と権利擁護に配慮した取り組みについて。	ご本人が相談しやすい環境配慮(面談)
②利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止・発生時の対応について。	職員間で情報共有し管理者に報告
③利用者の金銭管理に方法について。	ご本人の意思に沿っての金銭管理支援
6) 利用者の安全確保	
①安心・安全な福祉サービスの提供を目的としたリスクマネジメント体制について。	常に情報を収集し適切に対応策を考える
②災害時における利用者の安全確保のための取り組みについて。	緊急避難先(避難訓練)の実施
7) 計画相談	
①利用者に対するモニタリングが適切に実施されるように相談支援事業所との連携について。	密に連携をとり情報共有を行う
②別法人の計画相談作成者数。	②別法人の計画相談作成者数 14人
③自法人の計画相談作成者数。	③自法人の計画相談作成者数 人
8) 職員の質の向上に向けた体制作り	
①職員一人一人の育成に向けた取り組みについて。	研修会参加・職業指導員による専門的知識習得
9) 短期入所の受け入れ	
①地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか。	①(通常受け入れ人数) 月平均 0人
②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	②(緊急受け入れ人数) 1年間 1人 (緊急受け入れ事例) 夕方自宅に帰りたくないとの事で一時受け入れ
10) 自由意見	
①日中支援型を行うにあたって課題について等・自由記入	職員配置の変更などの急な対応

日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価シート

記入日：令和 6 年 7 月 3 日

事業所名： ソーシャルインクルーホーム飯塚平恒

1 施設概要	事業開所日		令和6年 1月 1日		
	法人名称		ソーシャルインクルー株式会社		
	事業所名称		ソーシャルインクルー株式会社ホーム飯塚平恒		
	住居名称・定員数		住居名:	定員:	10人
			住居名:	定員:	10人
	住居所在地		福岡県飯塚市平恒453-1		
短期入所定員		定員: 2人			
2 利用者状況	障害支援区分	人数	年齢	人数	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)
	非該当	0人	10代以下	1人	身体 総数: 5人 主に日中GHで過ごす人数: 0人
	区分1	0人	20代	0人	
	区分2	1人	30代	0人	知的 総数: 1人 主に日中GHで過ごす人数: 1人
	区分3	4人	40代	3人	
	区分4	4人	50代	0人	精神 総数: 3人 主に日中GHで過ごす人数: 2人
	区分5	1人	60代	6人	
	区分6	人	65歳以上	人	難病 総数: 2人 主に日中GHで過ごす人数: 1人
	合計	10人			
	障害特性		医療的ケアの必要な者:		
強度行動障害のある者:			0人		
3 運営・支援について	1) 日中の支援方法について				
	①日中をグループホームで過ごす利用者に対する支援について。		・居室内で過ごされている ・訪問看護契約者は、散歩や買い物に行かれる		
	②外出や余暇活動の支援について。		・訪問看護(契約者) 買い物、散歩 ・リビングにて折り紙、オセロ、塗り絵など		
	③利用者の希望に沿った適切なサービス利用に関する支援について。		・買い物支援		
	2) 地域との交流方法				
	①利用者と地域との交流を広げるための取り組みについて。		・現在の所、取り組めていない		
3) 利用者の健康管理					
①利用者の体調変化による緊急時の迅速な対応について・利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫について。		・体調変化を見極めるため、毎朝のバイタルチェック ・食事量のチェック ・入浴 ・受診同行			

事業所名： ソーシャルインクルーホーム飯塚平恒

4) 利用者の食事について	
①利用者の心身の状況に応じた食事提供と支援について。	・毎食、手作りし野菜多めの食事を提供(タイハイ株式会社様栄養士の監修の元)
②食事は利用者の志向を考慮した献立を基本として美味しく食べられる工夫について。	・タイハイ株式会社様栄養士の監修の元提供している。 ・季節に応じた食事や他県の郷土料理など
5) 利用者の権利擁護の配慮について	
①利用者のプライバシー保護と権利擁護に配慮した取り組みについて。	・個室にて自ら施錠が行える ・居室への出入りは、ノックし許可後入室
②利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止・発生時の対応について。	・事故等の報告があった場合、本社に報告及び行政報告
③利用者の金銭管理に方法について。	・家族、本人管理
6) 利用者の安全確保	
①安心・安全な福祉サービスの提供を目的としたリスクマネジメント体制について。	・玄関出入口は、ナンバーロックを採用 ・監視カメラ
②災害時における利用者の安全確保のための取り組みについて。	・年2回の避難訓練を行っている
7) 計画相談	
①利用者に対するモニタリングが適切に実施されるように相談支援事業所との連携について。	・入居後の様子の報告や相談を行い、情報共有を行っている。
②別法人の計画相談作成者数。	②別法人の計画相談作成者数 0 人
③自法人の計画相談作成者数。	③自法人の計画相談作成者数 1 人
8) 職員の質の向上に向けた体制作り	
①職員一人一人の育成に向けた取り組みについて。	・OJT研修を入職時に実施 ・定期研修の実施
9) 短期入所の受け入れ	
①地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか。	①(通常受け入れ人数) 月平均 2 人
②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	②(緊急受け入れ人数) 年間 0 人 (緊急受け入れ事例)
10) 自由意見	
①日中支援型を行うにあたって課題について等・自由記入	・人員確保 ・日中支援型の周知